

心が育まれるとき



吾妻山に白い雪が見える季節になりました。毎年この時季になると、春に咲く花の苗を届けてくださる方がいます。

今年はパンジー、ビオラそしてネモフィラの苗をいただきました。本当にありがたく思います。

11月16日(月)、年長組の子どもたちが、そのパンジーやビオラの苗を、プランターや花壇に植えました。これから冬を迎えますが、寒さに負けずしっかりと育て

て、卒園式のころには可愛い花をたくさん咲かせることと思います

そして次の週、その花の苗を届けてくださった方に、お礼の手紙を書きました。花びらの形に切った小さな色紙に、子どもたちみんながひらがなを一字ずつ書いて、それを順番に貼ってお礼の手紙をつくりました。

届けられたパンジーには「みんな、元気に育ってね。」「優しい子になってね。」という思いが込められているのだと思います。

それを受け取った子どもたちは、「ぼくたちは、大事にされているんだな。」「がんばらなくちゃ。」と心の中で思ったのではないのでしょうか。そういう思いは、子どもたちの意識の中にずっと残っていくのだらうと思います。

心のこもったパンジーを大事に育てることによって、子どもたちの心は豊かに育っていきます。



次年度の教育の計画を作ります

12月に入ると幼稚園では、今年度の教育活動を振り返り、よかった点や改善点をはっきりさせ、次年度の教育の計画(教育課程)をつくりはじめます。

文部科学省の幼稚園教育要領では、「社会に開かれた教育課程」という考えが大切だと書かれています。それは、幼稚園の教育を園の中だけに閉じずに、社会とのかかわりの中で、子どもたちに「自らの人生をたくましく切り拓いていく」力を育んでいこうというものです。

保護者のみなさまには、今週末に配付します「清水幼稚園の教育に関するアンケート」で、ご意見をいただくことにしています。よろしくお願ひします。